山岳指導員育成補助事業について

(目的)
　大阪府山岳連盟会員の山岳指導員受講者の減少に伴い、連盟が行っている事業の指導者不足が否めない現状にある。この現状を解決するため、受講者に対して連盟から受講料の補助を行うことによって、各委員会での事業に協力して頂く指導者の育成を目的として設ける。

(補助内容)
　山岳コーチ１および山岳コーチ２養成講習会は日本スポーツ協会が行う共通科目と日本山岳・スポーツクライミング協会が行う専門科目に分けて行われているため、専門科目受講料（４万円）を補助する。

(募集人数)
　2023 年度指導委員会が担える新規受講者数は山岳コーチ１は４名、山岳コーチ２は２名のため、2023 年度は併せて６名程度を募集人数とする。

(補助対象者)
　公認山岳コーチ１および公認山岳コーチ２受検資格に該当する者とする。
　公認山岳コーチ１の認定と受検資格（抜粋）
・JSPO の所定の共通科目（Ⅰ）を修了、あるいは修了予定のもの
・無雪期の登山経験が５年以上あること
・１１月から５月までの雪山登山経験が３年以上あること
・所属山岳会・グループでの登山においてリーダーの実績が３年以上あること
　公認山岳コーチ２の認定と受検資格 （抜粋）
・JSPO の所定の共通科目（Ⅱ）を修了、あるいは修了予定のもの
・無雪期の登山経験が５年以上あること
・１２月から３月までの３０００ｍ以上の積雪期登山経験が３年以上あること
・無雪期にルートグレード４級以上のマルチピッチの岩場をリードできること
・所属山岳会・グループでの登山においてリーダーの実績が３年以上あること
・指導的立場にあり、知徳円満にして指導者として活動の意志があるもの

(補助条件)
　１）大阪府山岳連盟に所属する６０歳以下の会員であること。
　２）資格を収得した者は、各委員会が行う事業に積極的に協力すること。
　３）資格を取得した者は自然保護指導員に登録（5 年間 4000 円）すること。

(補助する時期)
　養成講習会の申し込みを行う者は専門科目受講料４万円を支払うが、取得した後に４万円を補助する。

(財源)
　大阪府山岳連盟が保有する預貯金から 2023 年度は 24 万円程度を支出する。
　2024 年度以降は 2023 年度の執行状況を見て判断する。